

# 第15回

# 機能性糖鎖研究会講演会

生体機能を制御する糖鎖の化学・生化学についての講演会です

## Synthesis of Cell-Surface Carbohydrates and Molecular Origami



Shang-Cheng Hung (洪上程) 先生

Distinguished Research Fellow & Division Director of  
Chemical Biology, Genomics Research Center, Academia  
Sinica (中央研究院) 台湾

生体を構成する細胞の表面には糖鎖が豊富に存在します。糖鎖の中でもグリコサミノグリカン Glycosaminoglycan (GAG) と呼ばれる硫酸化糖鎖は種々の細胞内シグナル伝達を制御し、個体や細胞の恒常性の維持に不可欠な分子です。GAGのアミノ基や水酸基は位置特異的に硫酸化されていますが、特定の硫酸化パターンをもつ糖鎖構造がGAGの機能発現に重要な役割を果たします。そのため、“硫酸化糖鎖構造とその機能”を解明することは重要なテーマです。合成オリゴ糖は構造-機能相関性の解明に強力なツールとして利用されます。本講演では、GAGファミリーの一つであるヘパラン硫酸の化学合成についてお話をしていただきます。そしてMolecular Origamiとは?・・・お楽しみに。

## 来聴歓迎

日時: 令和元年10月4日(金曜)13時00分~14時30分

会場: 鳥取大学 広報センター スペースC

主催: 農学部 田村純一研究室

後援: (公社)日本農芸化学会

連絡先: 田村純一(農学部) [jtamura@tottori-u.ac.jp](mailto:jtamura@tottori-u.ac.jp)